

基礎分野科目：論理的思考の基礎

授業科目：エンカウンター 15 時間

講師名：「 」

目的：1. 人間としての自己成長を図り、豊かな感性を身につけ、看護者としてのあり方および人間関係の成立過程を学ぶ。

2. 人間と人間を取り巻く社会とのつながりを理解し、個人や集団の人と人とのよりよい人間関係を調整する能力を養う。

目標：1. 人間が人と人との間で生きることの関係性について基本的な知識を理解する。

2. 良好な人間関係を保つための知識・技術・態度について学ぶ。

教育内容

単元名	教育内容	時間	教育方法	留意点
グループエンカウンター 1. 人間—関係的存在	1) 人間関係とは(人間関係の構築について) 2) 人間関係における自己理解(自己の人間関係を見つめる) 筆記試験 3) コミュニケーション(自己を伝える対人関係)	14 時間	講義 グループワーク 討議	基本的コミュニケーションを通して、自己の人間関係を振り返ることができるようにする。
2. 自分と他者の良好な関係	1) 人間の知覚と社会的認知(良好な人間関係を保つには) 2) 集団の形成(集団で自分の意見を表現する意義) 3) 集団凝集性(集団において人間関係を深めるには)			
3. 社会における人間関係	1) 社会的影響と相互関係(社会の中の人間関係) 2) 社会的役割と自己呈示(人間尊重の基盤)			
4. 試験	筆記試験	1 時間		
教科書	配布資料			
評価方法	受講態度と筆記試験			
進 度	1 年次 前期			

科目名：「ナースのための文章力」 20 時間

講師名：「 」

目的：事実と意見を区別しながらまとめ、他者に伝えるための文章表現力を身につける。看護学生としてレポートや実習記録を書くために必要な基礎的事項を学習する。

- 目標：1. 日本語の基本的な文法事項を理解し、目的や相手に応じて適切な表現を選択できる。
2. 出来事や自身の考えについて、わかりやすくて確かな文章を書くことができる。

教育内容

単元名	教育内容	時間	教育方法	留意点
1. ガイダンス・概論	1) 授業の進め方、注意事項 2) 文章表現力とは何か 3) 文章の種類	2 時間	講義 演習	
2. 文法知識	1) 文の成分・品詞 2) 動詞の自他・活用・態 3) 動作主視点とできごと視点 4) 漢語・和語・カタカナ語・専門用語 5) ら抜き・レタス・さ入れ言葉	4 時間		
4. 敬語	1) 敬語の分類 2) 尊敬語と謙譲語 3) 注意すべき敬語 4) ポライトネス・ストラテジー	2 時間		
5. 正確な文章	1) 文のねじれと係り受け 2) あいまい文	2 時間		
6. 事実を伝える文章	1) 描写する文 2) 5W1H (2H) 3) 情報の整理と選択 4) 悪文とは何か	4 時間		
7. 意見を伝える文章	1) 問い・答え・理由のある文 2) 良い論証とは何か 3) 文章の構成	4 時間		
8. 試験		2 時間		
教科書	特になし。都度プリントを配布する。			
評価方法	演習 50% 試験 50%			
進 度	1 年次 前期・後期			

基礎分野科目：人間と生活・社会

授業科目：看護と情報 20 時間

講師名：「 」

目的：ICTの基礎的知識や情報管理における個人情報の保護など倫理的な内容を学ぶ。

目標：1. 医療現場における情報管理（リテラシーを含む）を学び、基本的操作ができる。

2. 情報の取り扱いについて、倫理的なルール（原則）がわかり、ICTを活用できる。

教育内容

単元名	教育内容	時間	教育方法	留意点
コンピュータ概論	情報機器全般の基礎知識や用いられる単位の理解	1 時間	講義	
文字入力とファイル管理	Word の基本操作	1 時間		
	文字の入力と文書の保存	1 時間		
文書作成①	文書の編集	1 時間		
	文書の印刷	1 時間		
文書作成②	表の挿入	1 時間		
	文書の編集	1 時間		
文書作成③	図やイラストの挿入	1 時間		
	図やワードアートの書式設定	1 時間		
表計算①	Excel の基本操作	1 時間		
	計算式と関数	1 時間		
表計算②	主要な基本的関数	1 時間		
	統計とグラフ作成	1 時間		
プレゼンテーション①	PowerPoint の基本操作	1 時間		
	プレゼンテーションの作成	1 時間		
プレゼンテーション②	デザイン設定	1 時間		
	スライドマスターの基礎	1 時間		
プレゼンテーション③	視覚効果設定	1 時間		
情報セキュリティとモラル	著作権、セキュリティ知識	1 時間		
試験		1 時間		
教科書	医療従事者のための情報リテラシー第2版			
評価方法	筆記試験			
進 度	1 年次 前期			

科目名：「人と暮らし」 15 時間

講師名：「 」 「 」

目的：看護の対象である人間を生活者として理解するために、文化や宗教、価値観について考え、人の暮らしについて学ぶ。

- 目標： 1. 生活者としての人間が、文化や宗教の影響を受けて価値観の形成につながっていることを理解できる。
2. 人の暮らしを地域や社会という視点から学び、基本的生活習慣について考えることができる。
3. 人の暮らしを住まい（住環境）という視点から学び、生活者について考えることができる。

教育内容

単元名	教育内容	時間	教育方法	留意点
1. 生活者としての人間	1) 生活の営みについて（吉元） 2) 文化や宗教と生活（吉元） 3) 生活者としての人間（吉元）	6H	講義	
2. 地域・社会と暮らし	1) 基本的生活習慣（中島） 2) 地域生活や社会生活（中島）	4H	講義	
3. 暮らしと住まい （住環境）	1) 人にとっての住まい（中島） 2) 福祉と住環境（中島）	4H	講義	
4. 試験		1H		
教科書	必要に応じて資料配付			
評価方法	課題学習レポート			
進 度	1 年次			